

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町 3 7 5 番地

TEL (075)221-4616

zuirenji@hotmail.com

http://www.zuirenji.net/

Shinshū Ōtani-ha

Jiunzan Zuirenji

Jiunkai

慈雲



佛告阿難
 及韋提希
 諦聽諦聽
 善思念之
 如来今者
 為未來世
 一切衆生
 為煩惱賊
 之所害者
 説清淨業

仏、阿難（あなん）および韋提希（いだいけ）に告げたま
 わく、「諦（あきら）かに聴き、諦かに聴け。善くこれを思
 念せよ。如来いま、未来世の一切衆生の煩惱の賊のために
 害せらるる者のために、清浄（しようじよう）の業（ごう）
 を説かん。

【『観経』の言葉】

この段から「定善示観
 縁」という一説に入りま
 す。お釈迦さまは仏弟子
 の阿難と韋提希夫人に
 対してこのようにおつ
 しゃいました。「二人よ、
 これから説くことを詳
 しくはつきりと聞きな
 さい。そしてよくそのこ
 とを考えて、失くしたり
 間違わないようにしな
 さい。如来である私はこ
 れから未来をも含むす
 べての衆生のために法
 を説こう。およそ人間は
 凡夫であるから煩惱に
 悩み苦しまされる。しか
 しその煩惱の正体をよ
 く探ってみればみずか
 らの妄信にみずからが
 迷いその障りは重く、ま
 るで足元に大きな穴が
 開いているのにも関わ
 らずそれに気づかない
 で暮らしているような
 ものである。そのような
 衆生の為に罪障を絶た
 しめるための清らかな
 る懺悔（さんげ）の法を
 説いていこう。

日曜礼拝

毎月第二、第四日曜日の九時から十時まで日曜礼拝を行っています。内容は勤行（お勤め）、法話。その後お茶とお菓子をいただいて解散します。十二月二十五日に今年最後の例会を開催します。どうぞご参加ください。



「おみがき」のご案内

お正月の前に仏具のおみがきをいたします。皆さまのご協力をお願いいたします。

十二月十八日（日）午前九時より

今年の法語カレンダーより



毎年お配りしているカレンダーを今年もお送りいたします。今年の九月はこのような絵と言葉でした。言葉は東井義雄先生の詩から選ばれています。東井先生は僧侶でもありまた教師としても素晴らしい方でした。絵は谷内正遠さんの版画です。この一枚は「ほのぼのカレンダー」の中でも特にほのぼのとしていてどこか懐かしくのどかな

絵と言葉でしたのでお気に入り一枚です。東井先生はお寺の住職として毎日本堂でお勤めをされたのでしよう。私もおあさじ（朝の勤行）の際にご本尊である阿弥陀さまのお顔を拝みますが優しいお顔をされている日もあれば何となくこわいお顔の日もあります。これはどういふことかと思ひますに、おそらく私の方の問題ではないかと思ひます。怠惰な生活をしていないかと思ひている時は仏さまも怒っておられるように感じられ、我ながらよくがんばっていると思ひている時には優しいお顔に感じるのでしょうか。しかしよくよく考えて見直してみると、阿弥陀さまのお顔に変わりはなく私のそんなこざかしい思いなどを超えていつもかわらぬ微笑んでおられるのです。なぜなら阿弥陀さまは私の根性をわたし以上によくご存じだからです。

編集後記

○今年も残すところあとわずかとなりました。みなさまにとってこの一年はどのような年だったのでしょうか。私が気づかなくてもきつと阿弥陀さまはそばにいてくださったのではないのでしょうか。